

公益社団法人日本薬学会
第 9 回薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび実務実習モデル・コアカリキュラムの
改訂に関する調査研究委員会議事録

日時:平成 25 年 4 月 21 日(日)13:00～15:00

場所:日本薬学会長井記念館 2 階AB会議室

出席:松木委員長

赤池, 有賀, 入江, 太田, 奥, 亀井, 河野, 鈴木, 須田, 高橋, 永田,

中村, 新田, 平田, 本間, 望月 各委員

オブザーバー: 大久保 総務担当理事

丸岡薬学教育専門官, 日下部技術参与(文部科学省)

田宮課長補佐(厚生労働省)

欠席:白幡, 政田, 増野, 松原, 吉田 各委員

事務局:土肥総務課長

松木委員長より、本委員会は、平成 24 年度委託事業の最終報告ならびに 25 年度実施体制の確認のため開催したとの趣旨説明があった後、議事に入った。

報告事項

1. 平成 24 年度「大学における医療人養成推進等委託事業」報告

各グループ責任者から、「薬学教育モデル・コアカリキュラム(中間まとめ)」について、主に前回委員会(2 月 1 日開催)以降に変更があった点を中心に報告ならびに説明があった。

文部科学省によるアンケート結果を踏まえて、さらなる全体の見直しと表現の統一が必要ではないかとの意見があった。

2. 薬学教育モデル・コアカリキュラム(中間まとめ)等に関するアンケート調査

文部科学省薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会より、本アンケートを 4 月 18 日付で各薬系大学、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本製薬工業協会、薬学教育協議会、日本薬剤師研修センター、薬学教育評価機構ならびに薬学共用試験センターへ発出した旨、報告があった。

また、文部科学省の専門研究委員会としては、今後の予定として、締切(5 月 17 日)後、回答を文部科学省で集計した後、専門研究委員会、薬学系人材養成の

在り方に関する検討会に諮る予定であること、平成 25 年度の文部科学省委託事業による作業依頼はその後の 7 月を目途と考えていること、説明会の開催や文部科学省HPでのパブコメの募集は、スケジュールを確認しながら、その先の展開となることが説明された。

協議事項

1. 平成 25 年度活動方針

平成 25 年度「大学における医療人養成推進等委託事業(薬学教育モデル・コアカリキュラム及び実務実習モデル・コアカリキュラムの改訂に関する調査研究)」の募集が既に開始されており、本年度も日本薬学会から応募することを確認した。

また、応募にあたって、本委員会委員、さらには各薬系大学の教員、日本薬剤師会と日本病院薬剤師会の派遣委員で構成される改訂チーム委員も原則、平成 24 年度と同様のメンバーとすることとした。

次いで、平成 25 年度の事業内容について意見交換を行い、以下の 4 項目を本年度事業として応募することとした。

- アンケート結果を踏まえた最終検討作業
- 全国説明会の開催
- アドバンスト内容の改訂のまとめ
- SBOレベルでの新旧対照表の作成

2. その他

SBOに領域(知識、技能、態度)を付記する際の基本的考え方を明文化することとした。